

平成 29 年度全国学力・学習状況調査の結果について

掛川市教育委員会

1 はじめに

本市立学校における「平成 29 年度全国学力・学習状況調査」の調査結果の概要をお知らせします。本市の結果等を公表することで、市民総ぐるみで成果や課題を共有し、家庭や地域の理解と協力を得て、掛川市の子どもたちを育てていきたいと考えております。なお、本調査は、子どもたちが身に付けるべき学力の一部を測定したものであり、全ての学力を表したものではありません。市全体の傾向や個々の学習状況を把握する資料の一つとして、今後の授業改善に役立てていきたいと考えています。

2 調査結果の概要

掛川市の調査結果を平均正答率で全国と比較しますと、小学校、中学校ともに、国語 A・国語 B・算数数学 A・算数数学 B の全てにおいて、全国を上回る結果でありました。静岡県と比較しますと、小学校の国語 B ではやや下回りましたが、その他の小学校、中学校全てで上回っておりました。

指標値で全国と比較しますと、中学校の数学では、主として知識に関する A 問題と、活用力を調査する B 問題の両方において、10 ポイント以上上回っており、国語 A、国語 B についても全国と比べて 5 ポイント以上上回っておりました。

今後は、調査結果分析委員会を開催し、掛川市全体の成果と課題について明らかにし、報告書及び家庭向けリーフレットを公表する予定です。

3 市の平均正答率の結果

【全国・県・市の平均正答率】

小学校	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
掛川市	75%	58%	79%	47%
静岡県	74%	59%	78%	46%
全 国	74.8%	57.5%	78.6%	45.9%
中学校	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
掛川市	81%	78%	72%	53%
静岡県	78%	74%	67%	50%
全 国	77.4%	72.2%	64.6%	48.1%

【全国・県の平均正答率を 100 とした場合の市の平均正答率の指標値】

小学校	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
静岡県比較指標値	101	98	101	102
全国比較指標値	100	101	101	102
中学校	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
静岡県比較指標値	104	105	107	106
全国比較指標値	105	108	111	110

4 全国と比較して正答率の高かった主な内容（○）と低かった主な内容（・）

(1) 小学校国語

- 俳句の情景について考えたこととして適切なものを選ぶ等の選択する問題。
- 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉える問題。
 - ・目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く問題。
 - ・物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめて書く問題。

(2) 小学校算数

- 2つの数の最小公倍数を求める問題。
- 示された考えを解釈し、数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを、図に表現する問題。
 - ・商を分数で表す問題
 - ・身近なものに置き換えた基準値と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述する問題

(3) 中学校国語

- 結論にたどり着いた理由として適切なものを選ぶ等の選択する問題。
- 目的に応じて必要な情報を読み取る問題。
 - ・楷書と行書を比較した時の説明として適切なものを選ぶ問題。

(4) 中学校数学

- 証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を書く等の知識理解の問題。
- 資料から適切な情報を読み取り答えを求める問題。
 - ・2つの図形の回転移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明する問題。

5 「学力の高い子 掛川10の法則」

本年度の児童生徒質問紙クロス集計結果から、次のような子どもが国語や算数・数学の平均正答率が高い傾向にあります。

- 自分にはよいところがあると思える。
- 読書が好き。
- 友だちの前で自分の考えや意見を発表することが得意。
- 「総合的な学習の時間」に、情報を集め整理し、調べたことを発表している。
- 話し合い活動で、内容を理解し相手の話を最後まで聞き、自分の考えを伝えている。
- 家の人と学校での出来事を話す。
- 家の人や、授業参観や運動会などの学校行事に参加している。
- 地域や社会で起こっている出来事に興味がある。
- 自分で計画を立てて勉強をする。
- 1日あたりのテレビやビデオ、テレビゲームの時間がない、もしくは少ない。

6 掛川の子どものたちの特長（主なものを抜粋）

	調査項目	小学校		中学校	
		掛川市	全国	掛川市	全国
自分自身に関わること	自分には、よいところがあると思う ※	85.5%	77.9%	78.0%	70.7%
	先生が自分を認めてくれていると思う ※	91.2%	86.0%	86.4%	80.4%
	失敗を恐れなくて挑戦している ※	82.1%	77.4%	76.4%	71.0%
地域に関わること	地域の行事に参加している ※	89.4%	62.6%	89.1%	42.1%
	ボランティア活動に参加したことがある	62.7%	35.4%	64.0%	49.7%

※は、当てはまる・どちらかといえば当てはまるの合計

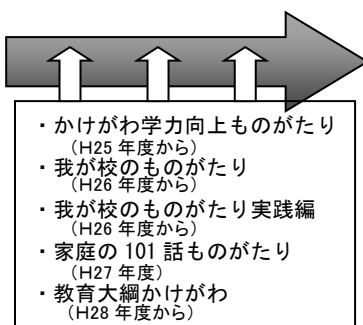
7 調査結果より

(1) 調査結果における中学校3年生の指標値の推移

○全国・県を上回っていた子どもたちが、さらにグンッと伸びている！

【平成26年度 小学校6年生】

	静岡県	全国
国語A	101	101
国語B	101	106
算数A	102	103
算数B	104	105



【平成29年度 中学校3年生】

	静岡県	全国
国語A	104	105
国語B	105	108
数学A	107	111
数学B	106	110

(2) 調査結果から見えてくること

○掛川の子どもたちは、自己肯定感が高い！

「自分にはよいところがあると思う」や「先生がよいところを認めてくれる」と感じている児童生徒が多く、子ども同士の間関係がよく、かつ、家庭でも学校でも、子どもたちをよく見て認め、誉めていることがわかります。

○小学校で基礎基本の力を身に付け、中学校ではその力を基盤に大きく学力を伸ばす！

「授業の中で話し合い活動や調べ学習を行い、自分の考えをまとめ発表している」と答える児童生徒の割合も、県・全国と比べ多いことがわかります。小学校の時に、話し合い活動や調べ学習の方法等について、丁寧に指導しており、それが中学校での学習に生かされています。

掛川市では、平成25年度から「かけがわ学力向上ものがたり」に基づき、「授業での振り返りをきちんとする」、「子どもの追究時間をたっぷり取る」等、意識して授業改善に取り組んできました。それが、「子どもたち自身が考えたい問い」や「小集団での深い対話」につながり学力を伸ばしていると言えます。

○中学校区学園化構想を生かして、学校・家庭・地域が一つのチームに！

「家庭で学校のことを話す」や「家族が学校行事に参加する」、「児童生徒が地域の行事に参加する」などの割合が高いのも掛川市の特徴です。

掛川市では、平成25年度から、全中学校区で「中学校区学園化構想」を推進し、保・幼・小・中の連携を強め、地域の教育力を園や学校に活かす教育を行っています。さらに、「かけがわお茶の間宣言」や「家庭のものがたり」をもとに、学校でも家庭でも、市民総ぐるみで子どもたちを育んできました。

そうした掛川ならではの取組による成果が現れています。

○中学校の結果は、全国トップレベル！

掛川市の中学生の結果は、都道府県の平均正答率と比べると、国語Bが全国1位の秋田県と同じ平均正答率でした。数学A, Bは、ともに、全国1位の福井県に続いて2位でした。国語Aは、全国1位の秋田県、石川県、福井県に続く4位の好結果であり、全てにおいて、全国トップレベルにあると言えます。

小学校の結果は、算数Bが全国9位であり、総じて見ると、平均をやや上回る結果となりました。

担 当 学校教育課 (山本)
電話番号 21-1156